

# 2023 年度 環境経営レポート

【取組期間】 大梅工場 2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日  
生コン工場、俵内工場 2024 年 1 月 1 日～2024 年 3 月 31 日



発行日:2024 年 11 月 20 日

改訂日:2025 年 1 月 18 日

**Seeds** 株式会社シーズ

大梅工場 〒963-6145 福島県東白川郡棚倉町大字大梅字段河内 303-23  
生コン工場 〒963-5683 福島県東白川郡棚倉町大字下山本字松並平 34-8  
俵内工場 〒963-6146 福島県東白川郡棚倉町大字戸中字高内 186-6

## 目次

1.	環境経営方針.....	1
2.	会社概要 .....	2
3.	環境経営システムの実施体制図及び役割・責任・権限表 .....	7
4.	環境経営目標.....	9
5.	環境経営計画(暫定期間) .....	12
6.	環境経営計画の取組内容と実施結果の評価.....	15
7.	環境活動計画の実績とその評価.....	18
8.	環境経営目標の実績と達成率を踏まえた評価.....	21
9.	環境関連法規の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反・訴訟の有無.....	24
10.	代表者の全体評価及び見直し.....	25
11.	今年度の評価を踏まえた次年度環境経営目標及び環境経営計画 .....	26

## 環境経営方針

### <基本理念>

株式会社シーズは、産業廃棄物収集運搬・中間処理事業等の活動を通じて、地球環境の保全、地域との共生により環境負荷軽減に取り組みます。

社員一人一人が、お客様や地域を大切にする企業として、環境資源の有効活用のもと環境保全と持続可能な地域づくりを目指し、環境経営システムを構築し、実施・運用して、継続的改善を行うことで資源の再生を図り、循環型社会の構築に努めます。

### <行動指針>

事業活動を通じて環境関連法規を遵守します。

1. 地球温暖化防止のため、二酸化炭素の排出削減に取り組みます。
2. 受託産業廃棄物の収集・運搬・中間処理による分別の徹底と再資源化を図ります。
3. 水資源の有効利用を図り、節水に取り組みます。
4. 環境に配慮した製品の製造・販売により環境保全に努めます。
5. 地域貢献活動を通して、環境整備に努めます。
6. 環境に配慮した企業からの製品の調達に努めます。
7. 化学物質使用量の削減に取り組みます。
8. SDGs(持続可能な開発目標)を意識した行動に努め、環境問題に取り組んでいきます。

この活動を全社員に周知徹底し、環境意識を高め、継続的に環境負荷低減に取り組んでいくことを誓います。

制定日:2022年8月19日

改定日:2022年11月18日

改定日:2023年9月22日

改定日:2024年4月1日

株式会社 **シーズ**

代表取締役 **益子清志**

## 2. 会社概要

### 1 名称及び代表者名

株式会社 シーズ

代表取締役 益子清志

### 2 所在地

本社	福島県東白川郡棚倉町大字流字豊先1
大梅工場(対象範囲)	福島県東白川郡棚倉町大字大梅字段河内 303-23
生コン工場(対象範囲)	福島県東白川郡棚倉町大字下山本字松並平 34-8
俵内工場(対象範囲)	福島県東白川郡棚倉町大字戸中字高内 186-6
上台工場・農場	福島県東白川郡棚倉町大字上台字行人塚 51-3
堀川工場	福島県東白川郡棚倉町大字棚倉字堀川 15-270
業務(資材・リース)	福島県東白川郡棚倉町大字堤字塚田 60-3
流給油所	福島県東白川郡棚倉町大字流字豊先1
関口給油所	福島県東白川郡棚倉町大字関口字上志宝 32-1
社川給油所	福島県東白川郡棚倉町大字堤字塚田 59
塙給油所	福島県東白川郡塙町大字大町2丁目 17-1
マスホン棚倉店	福島県東白川郡棚倉町大字流字屋中田 53-1

### 3 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者	常務取締役	下重 佳寛	TEL:0247-33-7890 E-mail:yoshihiro.s@seeds-g.net
推進責任者	大梅工場	会田 嘉裕	TEL:0247-35-2220 E-mail:yoshihiro.a@seeds-g.net
	生コン工場	品川 治男	TEL:0247-33-3233 E-mail:haruo.s@seeds-g.net
	俵内工場	小濃 芳勝	TEL:0247-35-2214 E-mail:yoshikatsu.o@seeds-g.net

### 4 事業内容

対象範囲:大梅工場、生コン工場、俵内工場

産業廃棄物収集・運搬、中間処分業、アスファルト合材の製造販売、砂の製造販売、生コンクリートの製造販売、碎石の製造販売

## 5 事業の規模

設立年月日: 昭和 39 年 3 月 24 日

資本金: 2,940 万円

売上高: 39.3 億円

	従業員(人)	建物床面積(m <sup>3</sup> )	
本社・流給油所	18	734.70	
大梅工場 砕砂・産廃	12	476.66	
アスファルト合材	9		
生コン工場(営業 3)	18	695.10	
俵内工場	12	163.96	
上台工場	上台工場	6	2445.24
	農場	3	
堀川工場	1	622.48	
関口給油所	5	221.79	
社川給油所	5	98.00	
埴給油所	5	108.77	
業務(資材・リース)	2	32.49	
マスホン棚倉店	6	347.52	
合計	102	5946.71	

## 6 事業年度

4 月 1 日～3 月 31 日

認証・登録の対象組織・活動

登録組織名	株式会社 シーズ		
対象事業所	大梅工場	砕砂・産廃	認証登録済み
		アスファルト合材	認証登録済み
	生コン工場		認証取得事業所
	俵内工場		認証取得事業所
対象外	本社・流給油所		2026 年までに認証取得予定
	上台工場・農場		2025 年までに認証取得予定
	堀川工場		2025 年までに認証取得予定
	業務(資材・リース)		2025 年までに認証取得予定
	関口給油所		2026 年までに認証取得予定
	社川給油所		2026 年までに認証取得予定
	埴給油所		2026 年までに認証取得予定
	マスホン棚倉店		2026 年までに認証取得予定
事業活動	産業廃棄物の収集・運搬、中間処理業アスファルト合材の製造販売、砂の製造販売、生コンクリートの製造販売、碎石の製造販売		

## 7 対象期間

大梅工場 令和5年4月～令和6年3月

生コン工場、俵内工場 令和6年1月～令和6年3月（暫定期間）

## 8 段階的認証とする理由

対象範囲:大梅工場、生コン工場、俵内工場

事業内容が多岐に渡りまた、事業拠点が複数あることから、一度に認証を取得することが難しいと判断し、環境負荷が高い大梅工場を初めに認証登録後、4年以内には段階的に拡大します。

## 9 適用ガイドライン

■ エコアクション 21 ガイドライン 2017 年版

■ 産業廃棄物処理業者向けガイドライン 2017 年版

## 10 対象範囲の情報公表項目

### (1) 許可・認定・登録

廃棄物に関する許可

	許可番号	許可年月日	有効年月日	事業の範囲	
				事業区分	廃棄物種類
1	第00703046661号	R4.3.31	R9.3.16	福島県南地方振興局 産業廃棄物収集運搬業	①②③④⑤⑥⑦
2	第00900046661号	R5.4.23	R10.4.22	栃木県 産業廃棄物収集運搬業	①④⑦
3	第00801046661号	R5.6.1	R10.4.15	茨城県 産業廃棄物収集運搬業	①④⑦
4	第00720046661号	R4.3.31	R9.3.16	福島県 産業廃棄物処分業	①⑥⑦
産 業 廃 棄 物 の 種 別	① 汚泥(無機性汚泥に限る)			② 廃プラスチック類(自動車等破砕物を除く。)	
	③ 紙くず			④ 木くず	
	⑤ 金属くず(自動車等破砕物を除く。)				
	⑥ ガラスくず、コンクリートくず及び、陶磁器くず			⑦ がれき類	

### 一般建設業に関する許可

	許可番号	有効期間	建設業の種類
1	福島県知事 許可(般-3)第27082号	R4.3.19～R9.3.18	土木工事業 舗装工事業 とび・土工工事業

### (2) 施設等の状況

#### ●運搬車両の種類と台数

	車種	台数
1	ダンプ車	5
2	キャブオーバ	1
3	脱着装置付コンテナ専用車	1
4	コンクリートミキサー車	5

● 破碎・分別に伴う設備機械の種類と台数

	機械名	台数
1	小割機付ショベル	1
2	ショベルローダー	1

● 処理施設の種類、処分する産業廃棄物の種類、処理能力、処理方式

ア、中間処理(破碎)に係る施設

処理施設の種類	がれき類及びガラスくず・コンクリートくず・陶器くずの破碎施設
処理能力	384t/日(8時間) 48t/時間

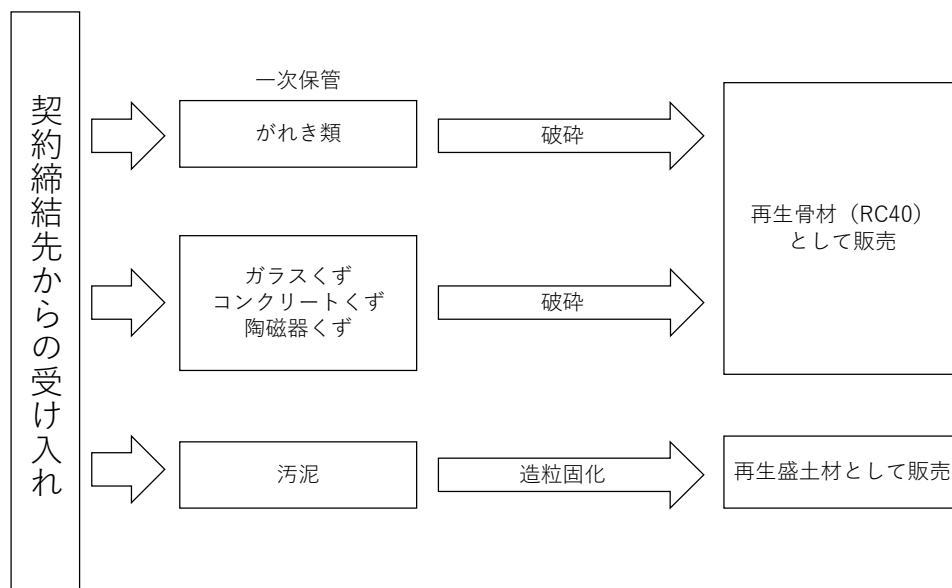
イ、中間処理(汚泥造粒固化)に係る施設

処理施設の種類	汚泥の造粒固化施設(固定式、移動式兼用)ーオデッサシステム
処理能力	120m <sup>3</sup> /日(8時間) 15m <sup>3</sup> /時間

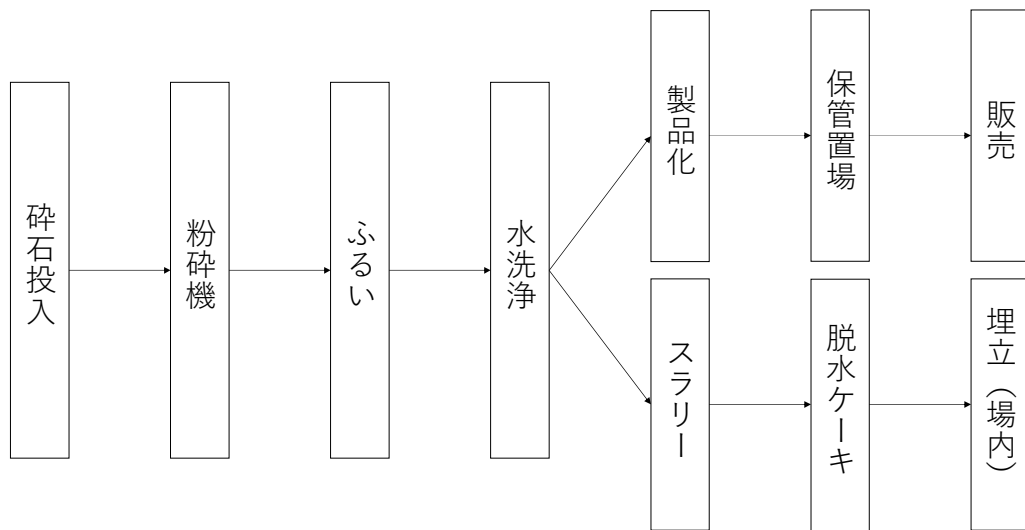
処理施設の種類	汚泥の造粒固化施設(固定式)ーリテラBZ120
処理能力	160m <sup>3</sup> /日(8時間) 20m <sup>3</sup> /時間

(3) 処理工程図

● 産業廃棄物中間処理施設 全体処理フロー



● 砕砂製造フロー図



(4) 受託した産業廃棄物の収集運搬量 (R5.4.1～R6.3.31実績)

種類	収集運搬量 (t)
アスコン破片	15,070
コンクリート破片	12,750
ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	4,166
がれき類(廃バラスト)	5,410
無機性汚泥	1,057

(5) 受託した産業廃棄物の処理量 (R5.4.1～R6.3.31実績)

種類	処理量 (t)
アスコン破片	15,225
コンクリート破片	13,085
ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	4,219
がれき類(廃バラスト)	5,410
無機性汚泥	1,057

### 3. 環境経営システムの実施体制図及び役割・責任・権限表

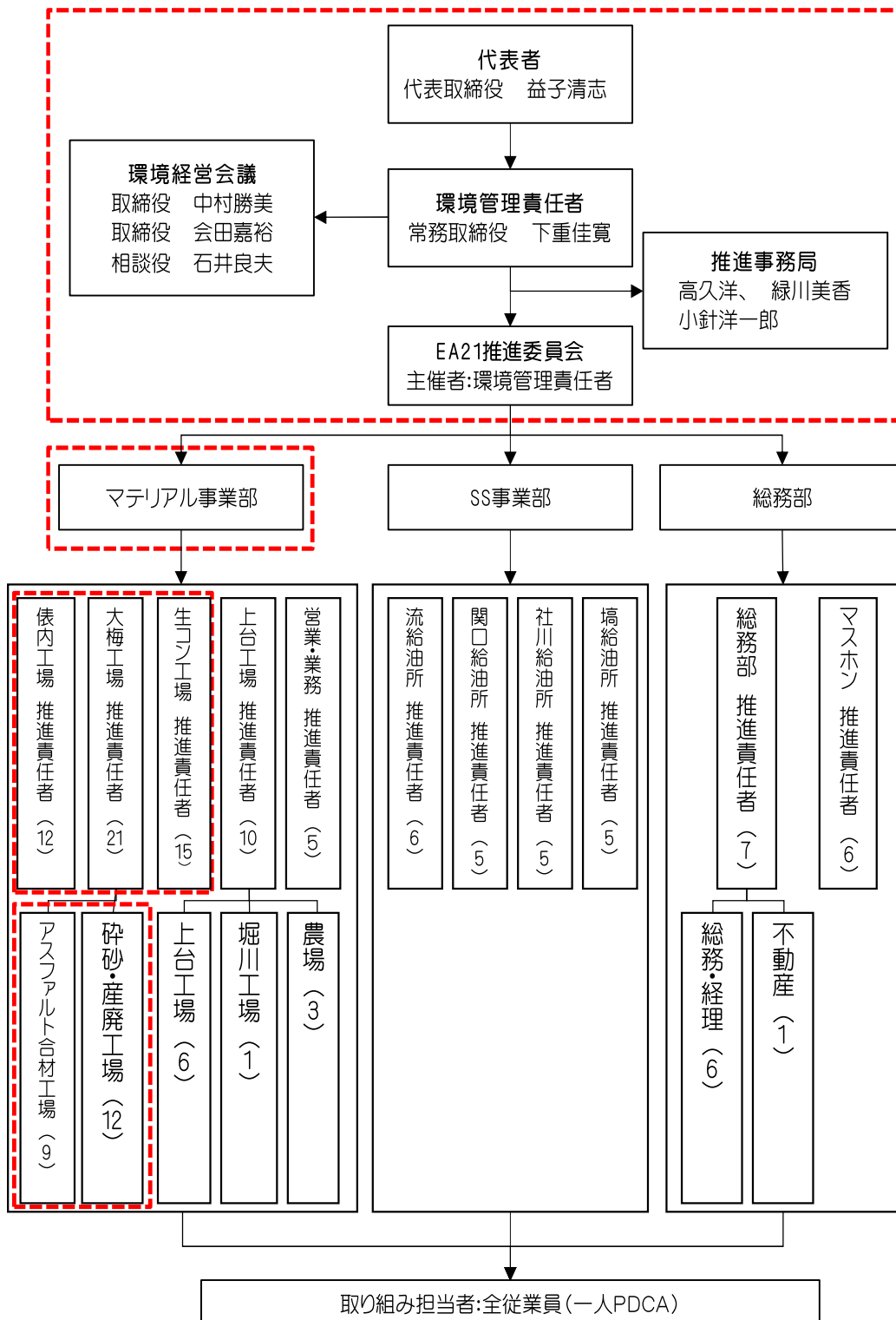
#### 環境経営システム体制図

制定年月日:2022.9.3

改定年月日:2024.11.16

対象事業所: **社内事業所**

#### (1).実施体制図



(2).役割・責任・権限	
役割・責任・権限	
代表者 (代表取締役)	・環境経営に関する統括責任
	・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間を準備
	・環境管理責任者を任命
	・経営における課題とチャンスの明確化
	・実施体制の構築
	・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知
	・環境経営目標・環境経営計画を承認
	・代表者による全体の評価と見直しを実施 環境経営会議の開催 ・環境経営レポートの承認 SDGsの推進
環境管理 責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理
	・エコアクション21推進委員会を定期的に開催する
	・緊急事態への準備及び対応(BCP含む)訓練に立会い結果の評価をする
	・環境関連法規等の取りまとめ票を承認
	・環境経営目標・環境経営計画の確認又は承認
	・環境経営目標及び環境経営計画の取組結果を代表者へ報告
	・環境経営レポートの確認又は承認
事務局 担当者	・環境管理責任者の補佐
	・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施
	・環境目標、環境活動計画書原案の作成
	・環境経営目標及び環境経営計画の実績集計、PDCAの回転確認(進捗管理)
	・環境関連法規等取りまとめ表の作成
	・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施
	・環境関連の外部コミュニケーションの窓口
	・環境活動レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)
対象事業 所責任者 担当者	・自部門における環境経営目標は部下を通して達成を図る。
	・自部門における環境経営方針の周知
	・自部門の従業員に対する教育訓練の実施
	・自部門に関連する環境経営目標及び環境経営計画の実施及び達成状況の報告
	・特定された項目の手順書作成及び運用管理
	・自部門における緊急事態対応手順書の作成、テスト・訓練の実施記録の作成保管
部門社員	・環境経営方針の理解により、全社と自己の立ち位置を自覚して誓約の重みを確認する
	・役割の理解と削減目標に対するPDCAが回っていることを確認する
	・取組みの進捗状況を月単位で管理し目標の達成に向かっていくことを確認する
	・目標の達成に向けた改善提案を積極的に行い力量を発揮する
	・外部コミュニケーションの情報を記録し、迅速に報告する
改定履歴	制定:令和4年9月3日
	改定:令和4年10月1日
	改定:令和5年5月19日
	改定:令和5年12月18日
	改定:令和6年11月26日

## 4. 環境経営目標






### 1. 対象事業所:大梅工場

対象期間:2023年4月1日~2024年3月31日

#### (1).中長期目標

No	環境経営目標項目	基準年	削減率等	中長期目標(3年)		
		2021年度 (R3.10~R4.3)	年率(%) 年件数(件)	2023年度 (R5.4~R6.3)	2024年度 (R6.4~R7.3)	2025年度 (R7.4~R8.3)
1	二酸化炭素排出量削減(kg/年)	1,057,387	1%	2,072,690	2,051,963	2,031,443
2	自社廃棄物排出量削減(kg/年)	7,320	1%	14,349	14,206	14,064
3	水使用量削減(m <sup>3</sup> /年)	345	1%	677	670	663
4	化学物質購入量削減(kg/年)	71,903	1%	140,944	139,535	138,140
5	グリーン購入品増加(品/年)	0	2アイテム増	4	6	8
6	運搬車両における環境配慮 軽油使用量削減(L/年)	23,685	1%	46,427	45,963	45,503
	事業活動における環境配慮項目 再資源化率の向上(%)	87.6	99%以上	99%以上	99%以上	99%以上

#### (2).単年度目標

No	環境目標項目	基準年(2021年度実績) (R3.10~R4.3)	削減率 (%,件数)	2023年度環境経営目標 (R5.4~R6.3)
1	二酸化炭素排出量	1,057,387	1%	2,072,690
	 (1) 電力排出量	212,048	1%	415,657
	 (2) 灯油排出量	2,891	1%	5,667
	 (3) LPG排出量	369	1%	724
	(4) ガソリン排出量	4,303	1%	8,435
	(5) 軽油排出量	274,095	1%	537,281
	(6) A重油排出量	563,680	1%	1,104,926
2	自社廃棄物排出量			
	 一般廃棄物	-	1%	647
	 産業廃棄物	7,320	1%	14,349
3	水使用量	345	1%	677
4	化学物質購入量	71,903	1%	140,944
5	グリーン購入の推進	0	2アイテム増	4
6	受託した産廃の収集運搬及び製品運搬における環境配慮 燃費管理	23,685	1%	46,427
	事業活動における環境配慮項目 再資源化率の向上	87.6	99%以上	99%以上

※二酸化炭素排出係数:0.356 t-CO2/kWh((株)V-Power R4.1.7 公表値(基礎排出係数)

※一般廃棄物排出量は、2022年度の326.6kg/半年から年1%削減で設定しました。

#### (3) 本年度自主設定環境経営目標

環境経営目標項目	取組期間(R5.4~R6.3)目標	中長期目標(3年)
5S活動の実施	定期的に5S推進委員会を開催し、赤札による整理整頓を行う	年1回の赤札作戦の実施
地域貢献活動協力	史跡周辺、河川等の地域清掃活動・イベント活動への参加	年3回の実施
















II. 対象事業所 :生コン工場

対象期間(暫定):2024年1月1日~2024年3月31日

(1).中長期目標

No	環境経営目標項目	基準年	削減率等	中長期目標(3年)			
		2021年度 (R4.1~R4.3)	年率(%) 年件数(件)	2023年度 (R6.1~R6.3)	2024年度 (R6.4~R7.3)	2025年度 (R7.4~R8.3)	
1	二酸化炭素排出量削減(kg/年)	107,300	1%	106,227	420,658	416,451	
2	廃棄物排出量削減(kg/年)	—	1%	計量する	計量する	計量する	
3	水使用量削減(m <sup>3</sup> /年)	—	1%	地下水 メータ取付け	集計する	集計する	
4	化学物質購入量削減(kg/年)	25,350	1%	25,097	99,382	98,388	
5	グリーン購入品増加(品/年)	—	2アイテム増	2	4	6	
6	事業活動における環境配慮項目	軽油使用量削減(L/年)	18,971	0.5%	18,876	75,125	74,750

(2).単年度目標

No	環境目標項目	基準年(2021年度実績) (R4.1~R4.3)	削減率 (%、件数)	2023年度環境経営目標 (R6.1~R6.3)	
1	二酸化炭素排出量	107,300	1%	106,227	
	 (1) 電力排出量	18,546	1%	18,360	
	 (2) 灯油排出量	1,384	1%	1,371	
	 (3) LPG排出量	18.6	1%	18.4	
	(4) がソリ排出量	2,030	1%	2,010	
	(5) 軽油排出量	73,532	1%	72,797	
	(6) LSA重油排出量	11,789	1%	11,671	
2	廃棄物排出量	 一般廃棄物	—	1%	計量する
		産業廃棄物	—	1%	年間集計する
3	水使用量	  	—	1%	地下水 メータ取付け
4	化学物質購入量	  	25,350	1%	25,097
5	グリーン購入の推進	  	—	2アイテム増	2
6	製品運搬における環境配慮	燃費管理  	18,971	0.5%	18,876

※二酸化炭素排出係数:0.356 t-CO2/kWh((株)V-Power R4.1.7 公表値(基礎排出係数))

(3) 本年度自主設定環境経営目標

環境経営目標項目	取組期間(R6.1~R6.3)目標	中長期目標(3年)
地域貢献活動協力	史跡周辺、河川等の地域清掃活動・イベント活動への参加	年3回の実施


### Ⅲ. 対象事業所 : 俵内工場

対象期間(暫定): 2024年1月1日～2024年3月31日

#### (1). 中長期目標

No	環境経営 目標項目	基準年	削減率等	中長期目標(3年)		
		2021年度 (R4.1～R4.3)	年率(%) 年件数(件)	2023年度 (R6.1～R6.3)	2024年度 (R6.4～R7.3)	2025年度 (R7.4～R8.3)
1	二酸化炭素排出量削減(kg/年)	292,006	1%	289,086	1,144,781	1,133,333
2	廃棄物排出量削減(kg/年)	875	1%	866	3,430	3,396
3	ガス使用量削減(kg/年)	20	現状維持	81	81	81
4	化学物質購入量削減(kg/年)	993	1%	983	3,895	3,856
5	グリーン購入品増加(品/年)	-	2アイテム増	2	4	6
6	事業活動における 環境配慮項目	生産量の向 上(t/年)	1%増	72,947	294,707	297,654

#### (2). 単年度目標

No	環境目標項目	基準年(2021年 度実績) (R4.1～R4.3)	削減率 (%、件数)	2023年度 環境経営目標 (R6.1～R6.3)	
1	二酸化炭素排出量	292,006	1%	289,086	
	 (1) 電力排出量	75,510	1%	74,755	
	(2) 灯油排出量	1,143	1%	1,131	
	(3) LPG排出量	60.43	1%	59.83	
	(4) ガソリン排出量	1,153	1%	1,141	
2	廃棄物排出量	一般廃棄物	-	1%	計量する
		産業廃棄物	875	1%	866
3	ガス使用量	20	現状維持	20	
4	化学物質購入量	993	1%	983	
5	グリーン購入の推進	-	2アイテム増	2	
6	事業活動における環境 配慮項目	生産量の向 上(t/年)	1%増	72,947	

※二酸化炭素排出係数: 0.356 t-CO2/kWh((株)V-Power R4.1.7 公表値(基礎排出係数))

#### (3) 本年度自主設定環境経営目標

環境経営目標項目	取組期間(R6.1～R6.3)目標	中長期目標(3年)
地域貢献活動協力	史跡周辺、河川等の地域清掃活動・イベント活動への参加	年3回の実施

## 5. 環境経営計画






### 1. 対象事業所:大梅工場

対象期間:2023年4月1日~2024年3月31日

環境経営目標	環境経営計画		担当者	取組の具体的内容	実施時期/頻度		
 二酸化炭素排出量の削減	電力使用の削減		緑川	不要照明の消灯	通年		
			部門長	照明器具の改善(蛍光灯をLED灯に更新)	2024.11		
			緑川	OA機器・家電製品の待機電力の削減	通年		
			緑川	冷暖房の温度管理(冬20℃、夏28℃)	通年		
			緑川	冷暖房機器フィルター清掃	年2回		
			緑川	冷暖房の上下温度差解消(サーキュレーターの設置)	2023.4		
			部門長	各種設備の効率的な運転(作業手順の見直し)	年2回		
			ガス使用の削減	緑川	給湯器のこまめな温度調節を行う	毎日	
				部門長	電気給湯器への切り替え	2023.10	
			エコドライブの実施		大森	エコドライブ教育研修に参加	8月
					大森	日常点検の実施	毎日
					大森	アイドリング時間の削減	通年
	大森	急発進、急加速はしない			通年		
	大森	タイヤの空気圧を定期的に調整する			毎月		
	緑川	燃費管理の実践(走行距離数/燃料消費量)			毎日		
	A重油使用の削減		部門長	水切り骨材の優先使用	雨天時		
部門長			ストックヤードのシート掛けの励行	雨天時			
 の削減(自社)	産業廃棄物	廃棄物分別の徹底	鈴木	分別の徹底と保管	通年		
			鈴木	廃棄物置場の整理	通年		
	一般廃棄物	ゴミの削減	緑川	コピー数量の削減	通年		
			緑川	OA紙の資源化	通年		
			緑川	分別の徹底	通年		
			緑川	マイバック・マイボトル・マイ箸への移行	通年		
 の総削減	水道使用量の削減	中村部長	洗車時の自動水栓の取り付け	2024.3			
	中水の利用	部門長	循環水システムの工夫	通年			
	地下水・雨水の利用	部門長	利用目的(消雪・散水)に応じた効率的な使用	通年			
 化学物質の削減	化学物質の削減	和知	化学物質の代替品への移行	通年			
	化学物質のSDS管理	和知	化学物質使用量の台帳管理による使用	通年			
	化学物質有害性把握	和知	揮発性有機溶剤の削減	通年			
 のング 推購リ 進 入	環境負荷低減	緑川	グリーン購入品目の集計	通年			
		緑川	エコマーク品の購入推進	通年			
 本業の環境配慮	再資源化率向上	緑川	年間の再資源化率の集計	2022.11~			
	資源の有効利用	鈴木	中間処理における待機動力の削減	通年			
	燃費向上	鈴木	燃費管理の実施	毎日			
	緑化活動	生田目	敷地内植樹(グリーンカーテン等)の実施	年1回			
 会地 活動 貢献社	地域・社会貢献活動	部門長	地域清掃活動への参加	年3回			
		部門長	各種環境イベントへの積極的参加	通年			
活5 動S	5S(整理・整頓・清掃・清潔・躰)活動	部門長	整理・整頓・清掃を行う	毎日			
		部門長	赤札作戦(要・不要の仕分け)の実施	年1回			

II. 対象事業所 :生コン工場

対象期間(暫定):2024年1月1日~2024年3月31日

環境経営目標	環境経営計画		担当者	取組の具体的内容	実施時期/頻度
 二酸化炭素排出量の削減	電力使用の削減		鈴木	不要照明の消灯	通年
			部門長	照明器具の改善(間引き及びブルダウンスイッチ他更新)	2025.3
			鈴木	OA機器・家電製品の待機電力の削減	通年
			鈴木	冷暖房の温度管理(冬20℃、夏28℃)	通年
			鈴木	冷暖房機器フィルター清掃	年2回
			鈴木	冷暖房の上下温度差解消(サーキュレーターの設置)	2025.3
			部門長	各種設備の効率的な運転(作業手順の見直し)	年2回
	ガス使用の削減		鈴木	給湯器のこまめな温度調節を行う	毎日
			部門長	ガス使用の見直し	2023.4
	エコドライブの実施		部門長	エコドライブ教育研修に参加	8月
			小濃	日常点検の実施	毎日
			小濃	アイドリング時間の削減	通年
			小濃	急発進、急加速はしない	通年
			小濃	タイヤの空気圧を定期的に調整する	毎月
			小濃	燃費管理の実践(走行距離数/燃料消費量)	毎日
LSA重油使用の削減		部門長	ボイラー稼働時間の短縮	冬期	
 の削減(自社)	産業廃棄物	廃棄物分別の徹底	牧野	分別の徹底と保管	通年
			牧野	分別方法を判りやすく掲示	2024.9
			牧野	廃棄物置場の整理	通年
	一般廃棄物	ゴミの削減	鈴木	コピー数量の削減	通年
			鈴木	OA紙の資源化	通年
			鈴木	分別の徹底	通年
			鈴木	マイバック・マイボトル・マイ箸への移行	通年
	 減量質化の使削用物	化学物質の削減	垂石	化学物質の代替品への移行	通年
化学物質のSDS管理		垂石	化学物質使用量の台帳管理による使用	通年	
 のング推購リ進入	環境負荷低減	鈴木	グリーン購入品目の集計	通年	
		鈴木	エコマーク品の購入推進	通年	
 環境の本配環業	燃費向上	小濃	ミキサー車の燃費管理の実施	毎日	
 活貢社地動献会域	地域・社会貢献活動	部門長	地域清掃活動への参加	年3回実施	

Ⅲ. 対象事業所 : 俵内工場

対象期間(暫定): 2024年1月1日～2024年3月31日

環境経営目標	環境経営計画		担当者	取組の具体的内容	実施時期/頻度
二酸化炭素排出量の削減 	電力使用の削減		宗田	不要照明の消灯	通年
			部門長	照明器具の改善(間引き及びブルダウンスイッチ他更新)	2025.3
			鈴木(美)	OA機器・家電製品の待機電力の削減	通年
			鈴木(美)	冷暖房の温度管理(冬20℃、夏28℃)	通年
			宗田	冷暖房機器フィルター清掃	年2回
			宗田	冷暖房の上下温度差解消(サーキュレーターの設置)	2025.3
			部門長	各種設備の効率的な運転(作業手順の見直し)	年2回
	ガス使用の削減		鈴木(美)	給湯器のこまめな温度調節を行う	毎日
			部門長	ガス使用の見直し	2024.11
	エコドライブの実施		部門長	エコドライブ教育研修に参加	8月
			中郡	日常点検の実施	毎日
			和知	アイドリング時間の削減	通年
			和知	急発進、急加速はしない	通年
			和知	タイヤの空気圧を定期的に調整する	毎月
	工藤	燃費管理の実践(走行距離数/燃料消費量)	毎日		
廃棄物排出量の削減(自社) 	産業廃棄物	廃棄物分別の徹底	宗田	分別の徹底と保管	通年
			宗田	分別方法を判りやすく掲示	2024.9
			宗田	廃棄物置場の整理	通年
	一般廃棄物	ゴミの削減	宗田	コピー数量の削減	通年
			宗田	OA紙の資源化	通年
			宗田	分別の徹底	通年
			中郡	マイバック・マイボトル・マイ箸への移行	通年
 化学物質削減量の削減 	化学物質の削減		工藤	化学物質の代替品への移行	通年
	化学物質のSDS管理		工藤	化学物質使用量の台帳管理による使用	通年
 グリーン購入の推進 	環境負荷低減		鈴木(美)	グリーン購入品目の集計	通年
			鈴木(美)	エコマーク品の購入推進	通年
 環境の本業 	生産量向上	作業工程の見直し	部門長	作業の見直しを図り、改善策を講じる	年3回
 地域・社会貢献活動 	地域・社会貢献活動		部門長	地域清掃活動への参加	年3回実施

## 6. 環境経営計画の取組内容と実施結果の評価

### 1. 対象事業所:大梅工場

対象期間:2023年4月1日~2024年3月31日

環境経営目標	環境経営計画	担当者	取組の具体的内容	実施結果の評価		
				評価	コメント	
二酸化炭素排出量の削減	電力使用の削減	緑川	不要照明の消灯	○	冬季はベレットストーブと併用で温度管理を行いました。昼休み時間の消灯確認やエアコンのフィルターの掃除を実施しました。また、作業手順を見直しました。サーキュレーターを設置したことにより空気を循環させ、エアコンの使用を見直しました。	
		部門長	照明器具の改善(蛍光灯をLED灯に更新)	×		
		緑川	OA機器・家電製品の待機電力の削減	○		
		〃	冷暖房の温度管理(冬20℃、夏28℃)	△		
		〃	冷暖房機器フィルター清掃	○		
		〃	冷暖房の上下温度差解消(サーキュレーターの設定)	○		
	部門長	各種設備の効率的な運転(作業手順の見直し)	○			
	ガス使用の削減	緑川	給湯器のこまめな温度調節を行う	◎	給湯器の温度調整をこまめに行いました。電気給湯器への切り替えができませんでしたので、次年度に検討します。	
		部門長	電気給湯器への切り替え	×		
	エコドライブの実施	大森	エコドライブ教育研修に参加	◎	日常点検を行い、エコドライブを周知実施することで、燃料の削減を行いました。今後、アイドリング時間削減を目指し、周知徹底を行ってまいります。	
		〃	日常点検の実施	○		
		〃	アイドリング時間の削減	△		
		〃	急発進、急加速はしない	○		
		〃	タイヤの空気圧を定期的に調整する	○		
	緑川	燃費管理の実践(走行距離数/燃料消費量)	○			
A重油使用の削減	部門長	水切り骨材の優先使用	◎	雨天時はシートを掛けることで水分の侵入を防ぎ、水切り骨材を使用することで、乾燥時間の短縮を図り、燃料の削減に努めています。		
	〃	ストックヤードのシート掛けの励行	◎			
廃棄物の削減(自社)	産業廃棄物	廃棄物分別の徹底	鈴木	分別の徹底と保管	○	ごみの重量を記録し、見える化を行うことで、ゴミの削減と分別を促しました。また、電子マニフェストを取り入れることで、紙のマニフェストを減らしています。
			〃	廃棄物置場の整理	○	
	一般廃棄物	ゴミの削減	緑川	コピー数量の削減	○	
			〃	OA紙の資源化	○	
			〃	分別の徹底	○	
〃	マイバック・マイボトル・マイ箸への移行	△				
総水量の削減	水道使用量の削減	中村部長	洗車時の自動水栓の取り付け	×	水の循環使用を図り、散水や消雪には沈砂池の水を使用しています。洗車時の自動水栓は次年度に検討します。	
	中水の利用	部門長	循環水システムの工夫	○		
	地下水・雨水の利用	部門長	利用目的(消雪・散水)に応じた効率的な使用	○		
化学物質の削減	化学物質の削減	和知	化学物質の代替品への移行	△	化学物質の管理台帳を作成し、使用量を把握し、購入量を管理できるようにしました。	
	化学物質のSDS管理	〃	化学物質使用量の台帳管理による使用	△		
	化学物質有害性把握	〃	揮発性有機溶剤の削減	△		
入りの推進	環境負荷低減	緑川	グリーン購入品目の集計	10	品目の集計を10月から行いました。購入時にエコマーク品等を確認しながら購入しています。	
		緑川	エコマーク品の購入推進	△		
本業の環境配慮	再資源化率向上	緑川	年間の再資源化率の集計	◎	再資源化率の向上をはかりました。また、休み時間は電源を切り、待機電力の削減を行いました。場内緑化のためヤマボウシ、アジサイ等4種類の植樹を行いました。	
	資源の有効利用	鈴木	中間処理における待機動力の削減	◎		
	燃費向上	〃	燃費管理の実施	◎		
	緑化活動	生田目	敷地内植樹(グリーンカーテン等)の実施	△		
活会地動貢社	地域・社会貢献活動	部門長	地域清掃活動への参加	◎	会社周辺道路や、現場周辺清掃を実施しました。	
		〃	各種環境イベントへの積極的参加	△		
5S活動	5S(整理・整頓・清掃・清潔・躰)活動	部門長	整理・整頓・清掃を行う	○	5S活動を実施し、事務所及び作業場をキレイに保つことにより、ムダな作業が減りました。	
		部門長	赤札作戦(要・不要の仕分け)の実施	○		

目標達成100%以上:◎ 目標達成90~100%未満:○ 目標達成70~90%未満:△ 目標達成70%未満:×

II. 対象事業所 :生コン工場

対象期間(暫定):2024年1月1日~2024年3月31日

環境経営目標	環境経営計画		担当者	取組の具体的内容	実施結果の評価	
					評価	コメント
二酸化炭素排出量の削減 	電力使用の削減		鈴木	不要照明の消灯	○	使用しない照明やPC等は消し、お昼休み時間も消灯を行いました。 冬期はベレットストーブを使用することで、エアコンの使用量を削減しました。 今後、サーキュレーターの購入を検討し、暖房の効率化を図りたいと思います。
			部門長	照明器具の改善(間引き及びブルダウンスイッチ他更新)	×	
			鈴木	OA機器・家電製品の待機電力の削減	○	
			鈴木	冷暖房の温度管理(冬20℃、夏28℃)	△	
			鈴木	冷暖房機器フィルター清掃	—	
			鈴木	冷暖房の上下温度差解消(サーキュレーターの設置)	×	
			部門長	各種設備の効率的な運転(作業手順の見直し)	○	
	ガス使用の削減		鈴木	給湯器のこまめな温度調節を行う	○	ガス給湯器を電気温水器に変更しました。事務所で使用するガスを削減出来ました。
			部門長	ガス使用の見直し	◎	
	エコドライブの実施		部門長	エコドライブ教育研修に参加	◎	エコドライブ研修に参加し、エコドライブを意識して業務に当りました。また、日常点検を行い安全運転を心掛けました。
			小濃	日常点検の実施	◎	
			小濃	アイドリング時間の削減	○	
			小濃	急発進、急加速はしない	○	
			小濃	タイヤの空気圧を定期的に調整する	○	
			小濃	燃費管理の実践(走行距離数/燃料消費量)	◎	
	LSA重油使用の削減		部門長	ボイラー稼働時間の短縮	○	製品の品質を保てる水温になるまでの間を目標に稼働時間を常に変更することで、燃料削減に努めています。
	廃棄物の削減(自社) 	産業廃棄物	廃棄物分別の徹底	牧野	分別の徹底と保管	◎
牧野				分別方法を判りやすく掲示	—	
牧野				廃棄物置場の整理	◎	
一般廃棄物		ゴミの削減	鈴木	コピー数量の削減	○	
			鈴木	OA紙の資源化	○	
			鈴木	分別の徹底	○	
			鈴木	マイバック・マイボトル・マイ箸への移行	△	
化学物質の削減 	化学物質の削減		垂石	化学物質の代替品への移行	×	化学物質管理台帳を作成し、台帳管理を行いました。今後環境に配慮した商品を検討していきたいと思います。
	化学物質のSDS管理		垂石	化学物質使用量の台帳管理による使用	◎	
グリーン購入の推進 	環境負荷低減		鈴木	グリーン購入品目の集計	△	エコマーク等の環境に優しい製品を選択して購入しましたが、品目を集計していませんでした。 来年度は、品目の集計を行いたいと思います。
			鈴木	エコマーク品の購入推進	△	
本配慮の環境 	燃費向上		小濃	ミキサー車の燃費管理の実施	○	毎日走行距離を確認し、日報に記入して、燃費管理を行いました。
地域社会活動 	地域・社会貢献活動		部門長	地域清掃活動への参加	—	活動期間中に地域イベントがありませんでした。

目標達成100%以上：◎ 目標達成90~100%未満：○ 目標達成70~90%未満：△ 目標達成70%未満：×

Ⅲ. 対象事業所 : 俵内工場

対象期間(暫定): 2024年1月1日～2024年3月31日

環境経営目標	環境経営計画		担当者	取組の具体的内容	実施結果の評価	
					評価	コメント
一酸化炭素排出量の削減 	電力使用の削減		宗田	不要照明の消灯	○	使用しない照明は消灯し、休み時間時のPC等の電力をOFFにすることで待機電力を削減しました。サーキュレーターを設置し、空気を循環することで、エアコンの使用を見直しました。
			部門長	照明器具の改善(間引き及びブルダウンスイッチ他更新)	○	
			鈴木(美)	OA機器・家電製品の待機電力の削減	○	
			鈴木(美)	冷暖房の温度管理(冬20℃、夏28℃)	○	
			宗田	冷暖房機器フィルター清掃	○	
			宗田	冷暖房の上下温度差解消(サーキュレーターの設置)	○	
			部門長	各種設備の効率的な運転(作業手順の見直し)	○	
	ガス使用の削減		鈴木(美)	給湯器のこまめな温度調節を行う	○	適宜温度調整を行い、ガスの使用量削減に取り組みました。
			部門長	ガス使用の見直し	○	
	エコドライブの実施		部門長	エコドライブ教育研修に参加	×	取組期間中にエコドライブ講習を受講できませんでした。しかし、エコドライブ運転を周知し、急発進急加速をしないように徹底しました。また、日常点検を行うことで、安全運転を心掛けました。
			中郡	日常点検の実施	○	
			和知	アイドリング時間の削減	○	
			和知	急発進、急加速はしない	○	
和知			タイヤの空気圧を定期的に調整する	△		
工藤			燃費管理の実践(走行距離数/燃料消費量)	×		
廃棄物排出量の削減(自社) 	産業廃棄物	廃棄物分別の徹底	宗田	分別の徹底と保管	○	ゴミの分別を徹底するように周知しました。
			宗田	分別方法を判りやすく掲示	○	
			宗田	廃棄物置場の整理	○	
	一般廃棄物	ゴミの削減	宗田	コピー数量の削減	○	コピー用紙削減のため、裏紙を使用しました。ごみを計量することで、見える化を行い、ゴミの削減に取り組みました。
			宗田	OA紙の資源化	○	
			宗田	分別の徹底	○	
			中郡	マイバック・マイボトル・マイ箸への移行	△	
化学物質の削減 	化学物質の削減		工藤	化学物質の代替品への移行	○	化学物質管理台帳を作成し、化学物質量を把握しました。
	化学物質のSDS管理		工藤	化学物質使用量の台帳管理による使用	○	
グリーン購入の推進 	環境負荷低減		鈴木(美)	グリーン購入品目の集計	△	エコ商品や詰め替え商品を購入していましたが、品目数を集計していませんでしたので、次年度は集計します。
			鈴木(美)	エコマーク品の購入推進	△	
本配慮の環境 	作業工程の見直し		部門長	作業の見直しを図り、改善策を講じる	△	場内の作業効率を図るため、作業工程を確認しました。
地域貢献活動 	地域・社会貢献活動		部門長	地域清掃活動への参加	-	取組期間中に地域イベントがありませんでした。

目標達成100%以上：◎ 目標達成90～100%未満：○ 目標達成70～90%未満：△ 目標達成70%未満：×

## 7. 環境活動計画の実績とその評価

### 大梅工場 環境経営目標の達成度評価(総量と売上高基準原単位評価)

環境経営目標 増減項目	総量(上段) 売上高原単位(下 段)	基準年 2021年度 実績(6ヶ月) (a)	2023年度 削減率 1%削減	2023年度 目標 (b)	実績年 2023年度 実績 (c)	実績基準 削減率 (%) ((a×2)-c)/(a× 2)×100	目標基準 達成率 (%) b/c×100	評価
売上高 (万円単位)		50,486.4			39,274.0			
CO2総量削減 	CO2 (kg/年)	1,057,387	0.01	2,072,690.0	1,304,770	38.3	158.9	◎
	CO2指数 (CO2kg/万円)	20.9	0.01	20.7	33	-58.6	62.4	×
電力使用量削減 	電力量 (CO2kg/年)	212,048	0.01	415,657	315,207	25.7	131.9	◎
	電力量指数 (CO2kg/万円)	4.20	0.01	4.16	8.0	-91.1	51.8	×
灯油使用量削減 	灯油 (CO2kg/年)	2,891	0.01	5,667	1,728	70.1	327.9	◎
	灯油 (CO2kg/万円)	0.06	0.01	0.06	0.04	23.2	128.8	◎
LPG使用量削減 	LPG (CO2kg/年)	369	0.01	724.0	873	-18.3	82.9	△
	LPG (CO2kg/万円)	0.01	0.01	0.01	0.02	-204.2	32.5	×
ガソリン使用量 削減 	ガソリン (CO2kg/年)	4,303	0.01	8,435	5,134	40.3	164.3	◎
	ガソリン (CO2kg/万円)	0.09	0.01	0.08	0.13	-53.4	64.6	×
軽油使用量削減 	軽油 (CO2kg/年)	274,095	0.01	537,281	412,728	24.7	130.2	◎
	軽油 (CO2kg/万円)	5.4	0.01	5.37	11	-93.6	51.1	×
A重油使用量削 減 	A重油 (CO2kg/年)	563,680	0.01	1,104,926	569,100	49.5	194.2	◎
	A重油 (CO2kg/万円)	11.2	0.01	11.05	14	-29.8	76.3	△
一般廃棄物排出量削 減 	一般廃棄物 (t/年)		0.01	0.647	0.740		87.4	△
	一般廃棄物 (t/万円)	0.00	0.01	0.00	0.00		0.0	×
自社産業廃棄物 排出量削減 	産業廃棄物 (t/年)	7.32	0.01	14.35	15.88	-8.4	90.4	○
	産業廃棄物 (t/万円)	0.00	0.01	0.00	0.0	-178.8	35.5	×
水使用量削減 	水使用量 (m3/年)	345	0.01	677	660.0	4.3	102.6	◎
	水使用量 (m3/万円)	0.01	0.01	0.01	0.02	-145.9	40.3	×
化学物質購入量 	化学物質購入量 (kg/年)	71,903	0.01	140,944	64,199	55.4	219.5	◎
	化学物質購入量 (kg/万円)	1.42	0.01	1.41	1.63	-14.8	86.3	△
グリーン購入品 目数増加 	品目数 (品/年)		2	4	10		250.0	◎
受託した産業廃棄物の 再資源化率向上 (※) 	再資源化率 (%)	87.6	99%以上	99%以上	101.4	13.8	102.4	◎
車両の燃費向上 (※) 	軽油使用量(L/年)	23,685	0.01	46,427	46,461	1.9	99.9	○
	軽油使用量(L/万円)	0.47	0.01	0.46	1.18	-152.2	39.3	×
地域貢献活動協力 	地域清掃活動・環境イベ ントへの参加	2		年3回	5		100.0	◎

評価基準	達成率100%以上	◎
	達成率90%以上から100%未満*1)	○
	達成率70%以上から90%未満	△
	達成率70%未満	×

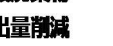
\*1) 達成率90~100%は若干目標には到達しなかったがPDCAが回ったことを評価。

※2021年度の実績は、6ヶ月間のため実績基準削減率を算出する際には、値を2倍にして算出しました。

※再資源化率向上については、目標基準達成率c/b×100で算出しました。

## 生コン工場

### 環境経営目標の達成度評価(総量と売上高基準原単位評価)

環境経営目標 増減項目	総量(上段) 売上高原単位(下 段)	基準年 2021年度 実績 (a)	2023年度 削減率	2023年度 目標 (b)	実績年 2023年度 実績 (c)	実績基準 削減率 (%) (a-c)/a×100	目標基準 達成率 (%) b/c×100	評価
売上高 (万円単位)		17,405.8			17,527.4			
CO2総量削減 	CO2 (kg/年)	107,300	0.01	106,226.8	134,627	-25.5	78.9	△
	CO2指数 (CO2kg/万円)	6	0.01	6.1	8	-24.6	79.5	△
電力使用量削減 	電力量 (CO2kg/年)	18,546	0.01	18,360	18,290	1.4	100.4	◎
	電力量指数 (CO2kg/万円)	1.1	0.01	1.055	1.0	2.1	101.1	◎
灯油使用量削減	灯油 (CO2kg/年)	1,384	0.01	1,371	1,496	-8.1	91.6	○
	灯油 (CO2kg/万円)	0.08	0.01	0.079	0.09	-7.3	92.2	○
LPG使用量削減	LPG (CO2kg/年)	18.6	0.01	18.4	0	100.0	100.0	◎
	LPG (CO2kg/万円)	0.00	0.01	0.001	0.00	100.0	100.0	◎
ガソリン使用量 削減	ガソリン (CO2kg/年)	2,030	0.01	2,010	2,197	-8.2	91.5	○
	ガソリン (CO2kg/万円)	0.12	0.01	0.12	0.13	-7.5	92.1	○
軽油使用量削減	軽油 (CO2kg/年)	73,532	0.01	72,797	109,284	-48.6	66.6	×
	軽油 (CO2kg/万円)	4.2	0.01	4.18	6	-47.6	67.1	×
LSA重油使用量 削減	LSA重油 (CO2kg/年)	11,789	0.01	11,671	3,360	71.5	347.3	◎
	LSA重油 (CO2kg/万円)	0.7	0.01	0.67	0	71.7	349.7	◎
一般廃棄物 排出量削減 	一般廃棄物 (t/年)		0.01	0.000	0.09		0.0	×
	一般廃棄物 (t/万円)	0.00000	0.01	0.0000	0.00001		0.0	×
産業廃棄物 排出量削減 	産業廃棄物 (t/年)	0	0.01	0	0		0.0	×
	産業廃棄物 (t/万円)	0.0	0.01	0.0	0.0		0.0	×
水使用量削減 	水使用量 (m3/年)		0.01	メーター設置	メーター未設置	0.0	0.0	×
化学物質購入量 	化学物質購入量 (kg/年)	25,350	0.01	25,096.5	20,200	20.3	124.2	◎
	化学物質購入量 (kg/万円)	1.46	0.01	1.44	1.15	20.9	125.1	◎
グリーン購入品 目数増加 	品目数 (品/年)		2	2	0	0.0	0.0	×
車両の燃費向上 (※) 	軽油使用量(L/年)	18,971	0.005	18,876	21,932	-15.6	86.1	△
	軽油使用量(L/万円)	1.09	0.005	1.08	1.25	-14.8	86.7	△
地域貢献活動協力 	地域清掃活動・環境イ ベントへの参加	0		年3回	0	0.0	0.0	×

評価基準	達成率100%以上	◎
	達成率90%以上から100%未満*1)	○
	達成率70%以上から90%未満	△
	達成率70%未満	×

\*1)達成率90~100%は若干目標には到達しなかったがPDCAが回ったことを評価。

俵内工場

環境経営目標の達成度評価(総量と売上高基準原単位評価)

環境経営目標 増減項目	総量(上段) 売上高原単位(下 段)	基準年 2021年度 実績 (a)	2023年度 削減率	2023年度 目標 (b)	実績年 2023年度 実績 (c)	実績基準 削減率 (%) (a-c)/a×100	目標基準 達成率 (%) b/c×100	評価
売上高 (万円単位)		16,490.7			11,639.5			
CO2総量削減	CO2 (kg/年)	292,006	0.01	289,086.0	235,083	19.5	123.0	◎
	CO2指数 (CO2kg/万円)	18	0.01	17.5	20	-14.1	86.8	△
電力使用量削減	電力量 (CO2kg/年)	75,510	0.01	74,755	65,319	13.5	114.4	◎
	電力量指数 (CO2kg/万円)	4.6	0.01	4.533	5.6	-22.6	80.8	△
灯油使用量削減	灯油 (CO2kg/年)	1,143	0.01	1,131	837	26.8	135.2	◎
	灯油 (CO2kg/万円)	0.07	0.01	0.069	0.07	-3.7	95.5	○
LPG使用量削減	LPG (CO2kg/年)	60.4	0.01	59.8	56	7.2	106.7	◎
	LPG (CO2kg/万円)	0.00	0.01	0.004	0.00	-31.5	75.3	△
ガソリン使用量 削減	ガソリン (CO2kg/年)	1,153	0.01	1,141	913	20.8	125.0	◎
	ガソリン (CO2kg/万円)	0.07	0.01	0.07	0.08	-12.2	88.2	△
軽油使用量削減	軽油 (CO2kg/年)	214,140	0.01	211,999	167,958	21.6	126.2	◎
	軽油 (CO2kg/万円)	13.0	0.01	12.86	14	-11.1	89.1	△
一般廃棄物排出量削減	一般廃棄物 (t/年)		0.01	0.000	0.13		0.0	×
	一般廃棄物 (t/万円)	0.00000	0.01	0.0000	0.00001		0.0	×
産業廃棄物 排出量削減	産業廃棄物 (t/年)	0.875	0.01	0.866	0	100.0	100.0	◎
	産業廃棄物 (t/万円)	0.0	0.01	0.0	0.0	100.0	100.0	◎
ガス使用量削減	ガス使用量 (kg/年)	20.0	現状維持	20.0	18.7	6.5	107.0	◎
	ガス使用量 (kg/万円)	0.00	現状維持	0.00	0.00	0.0	100.0	◎
化学物質購入量	化学物質購入量 (kg/年)	993	0.01	983	2,154	-116.8	45.7	×
	化学物質購入量 (kg/万円)	0.06	0.01	0.06	0.19	-207.1	32.2	×
グリーン購入品 目数増加	品目数 (品/年)		2	2	0	0.0	0.0	×
生産量の向上 (※)	生産量(t/年)	72,225	0.01	72,947	60,571	16.1	83.0	△
	生産量(t/万円)	4.38	0.01	4.34	5.20	-18.8	120.0	◎
地域貢献活動協力	地域清掃活動・環境イ ベントへの参加	0		年3回	0		0.0	×

評価基準	達成率100%以上	◎
	達成率90%以上から100%未満*1)	○
	達成率70%以上から90%未満	△
	達成率70%未満	×

\*1)達成率90~100%は若干目標には到達しなかったがPDCAが回ったことを評価。

※生産量の向上については、目標基準達成率c/b×100で算出しました。

## 8. 環境経営目標の実績と達成率を踏まえた評価

### 大梅工場

#### 環境経営目標の達成度評価コメント(総量と売上高基準原単位評価)

環境経営目標 増減項目	総量(上段) 売上高原単位(下 段)	実績基準 削減率 (%) ((a×2)-c)/(a× 2)×100	目標基準 達成率 (%) b/c×100	評価	達成度評価コメント
売上高 (万円単位)					
<b>CO2総量削減</b> 	CO2 (kg/年)	38.3	158.9	◎	アスファルト合材及び、砕砂産廃の出荷量が減少したためCO2量は減少しましたが、売上げに対する目標は達成できませんでした。
	CO2指数 (CO2kg/万円)	-58.6	62.4	×	
<b>電力使用量削減</b>	電力量 (CO2kg/年)	25.7	131.9	◎	2021年度はアスファルト合材の代納が多く、今年度は自家出荷が増加したことにより生産量が増加し電気の使用量が増加したことにより売上げに対する目標は達成できませんでした。
	電力量指数 (CO2kg/万円)	-91.1	51.8	×	
<b>灯油使用量削減</b>	灯油 (CO2kg/年)	70.1	327.9	◎	主に暖房用を使用しているため、ペレットストーブを使用することにより大幅に目標を削減できました。
	灯油 (CO2kg/万円)	23.2	128.8	◎	
<b>LPG使用量削減</b>	LPG (CO2kg/年)	-18.3	82.9	△	ガスを使う試験(アスファルト合材の配合試験)が多かったため使用量が増加し、目標を達成できませんでした。
	LPG (CO2kg/万円)	-204.2	32.5	×	
<b>ガソリン使用量削減</b>	ガソリン (CO2kg/年)	40.3	164.3	◎	工事現場に行く回数が減り、またエコドライブを実施したことで使用量を減らすことができ、目標を達成できました。
	ガソリン (CO2kg/万円)	-53.4	64.6	×	
<b>軽油使用量削減</b>	軽油 (CO2kg/年)	24.7	130.2	◎	アスファルト合材の自家出荷量が増加し、運搬用ダンプの走行距離が長くなったことにより、軽油使用量が増加し、売上げに対しての目標は達成できませんでした。
	軽油 (CO2kg/万円)	-93.6	51.1	×	
<b>A重油使用量削減</b>	A重油 (CO2kg/年)	49.5	194.2	◎	アスファルト合材の自家出荷量が増加し、売上げに対する目標は達成できませんでした。
	A重油 (CO2kg/万円)	-29.8	76.3	△	
<b>一般廃棄物排出量削減</b> 	一般廃棄物 (t/年)		87.4	△	一般廃棄物の約83%が可燃ごみになっており、裏紙として使用した紙の排出量が多かったため、目標より増加しました。
	一般廃棄物 (t/万円)		0.0	×	
<b>自社産業廃棄物排出量削減</b> 	産業廃棄物 (t/年)	-8.4	90.4	○	今年度は、キュービクル内の変圧器(約2t)の処分のため廃棄量が増加しました。
	産業廃棄物 (t/万円)	-178.8	35.5	×	
<b>水使用量削減</b> 	水使用量 (m3/年)	4.3	102.6	◎	節水を心掛けることで、目標を達成できました。
	水使用量 (m3/万円)	-145.9	40.3	×	
<b>化学物質購入量</b> 	化学物質購入量 (kg/年)	55.4	219.5	◎	使用台帳を記入することにより、使用量を把握し、余剰在庫を持つことなく使用することが出来たことにより、目標を達成できました。
	化学物質購入量 (kg/万円)	-14.8	86.3	△	
<b>グリーン購入品目数増加</b> 	品目数 (品/年)		250.0	◎	10月より集計を行い、目標より多く購入できました。
<b>受託した産業廃棄物の再資源化率向上</b> (※) 	再資源化率 (%)	13.8	102.4	◎	前年度の繰越分もあり、100%以上再資源化できました。
<b>車両の燃費向上</b> (※) 	軽油使用量(L/年)	1.9	99.9	○	目標より若干増加しましたが、基準年度より燃料を約211L/年削減でき、CO2量を約552kg-CO2/年削減できました。
	軽油使用量(L/万円)	-152.2	39.3	×	
<b>地域貢献活動協力</b> 	地域清掃活動・環境イベントへの参加		100.0	◎	棚倉城跡ウォーキングクリーン(8月、11月)、山砂委員会道路清掃(8月、12月)、河川清掃に参加しました。

評価基準	達成率100%以上	◎
	達成率90%以上から100%未満*1)	○
	達成率70%以上から90%未満	△
	達成率70%未満	×

\*1) 達成率90~100%は若干目標には到達しなかったがPDCAが回ったことを評価。

※2021年度の実績は、6ヶ月間のため実績基準削減率を算出する際には、値を2倍にして算出しました。

※再資源化率向上については、目標基準達成率c/b×100で算出しました。

## 生コン工場

### 環境経営目標の達成度評価コメント(総量と売上高基準原単位評価)









環境経営目標 増減項目	総量(上段) 売上高原単位(下 段)	実績基準 削減率(%) (a-c)/a×100	目標基準 達成率 (%) b/c×100	評価	達成度評価コメント
売上高(万円単位)					
CO2総量削減 	CO2(kg/年)	-25.5	78.9	△	工事現場が遠く移動距離が増加したことで、ガソリンと軽油の使用量が増加し目標を達成できませんでした。
	CO2指数(CO2kg/万円)	-24.6	79.5	△	
電力使用量削減	電力量(CO2kg/年)	1.4	100.4	◎	生コンの生産量が少ないことにより電気の使用量が減少し、目標を達成できました。
	電力量指数(CO2kg/万円)	2.1	101.1	◎	
灯油使用量削減	灯油(CO2kg/年)	-8.1	91.6	○	主に暖房と給湯器に使用していますが、給湯器の使用回数が増えたことにより、目標を達成できませんでした。
	灯油(CO2kg/万円)	-7.3	92.2	○	
LPG使用量削減	LPG(CO2kg/年)	100.0	100.0	◎	ガスの使用はガス給湯器のみでしたので、給湯器を電気給湯器に変更したことにより、目標を達成できました。
	LPG(CO2kg/万円)	100.0	100.0	◎	
ガソリン使用量削減	ガソリン(CO2kg/年)	-8.2	91.5	○	2021年度より工事現場が遠くなったことにより移動距離が長くなったことで、使用量が増え目標を達成できませんでした。
	ガソリン(CO2kg/万円)	-7.5	92.1	○	
軽油使用量削減	軽油(CO2kg/年)	-48.6	66.6	×	ガソリンと同様に2021年度より工事現場が遠くなったことにより移動距離が長くなったことで、使用量が増え目標を達成できませんでした。
	軽油(CO2kg/万円)	-47.6	67.1	×	
LSA重油使用量削減	LSA重油(CO2kg/年)	71.5	347.3	◎	二次製品の出荷が増えたことにより、生コンの生産量が減少したため、目標を達成できました。
	LSA重油(CO2kg/万円)	71.7	349.7	◎	
一般廃棄物 排出量削減 	一般廃棄物(t/年)		0.0	×	今期データを集計したので、来期より評価いたします。
	一般廃棄物(t/万円)		0.0	×	
産業廃棄物 排出量削減 	産業廃棄物(t/年)		0.0	×	取組期間中に産業廃棄物を排出しておりませんでしたので、来期より評価いたします。
	産業廃棄物(t/万円)		0.0	×	
水使用量削減 	水使用量(m3/年)	0.0	0.0	×	井戸水を使用しているため、メーターを取り付けて、使用量の把握に努めます。
化学物質購入量 	化学物質購入量(kg/年)	20.3	124.2	◎	製品の生産量及び品質管理によって、購入量が変化しますが、基準年度より削減することが出来ました。
	化学物質購入量(kg/万円)	20.9	125.1	◎	
グリーン購入品 目数増加 	品目数(品/年)	0.0	0.0	×	集計を行っていませんでしたので、次年度から集計を行います。
車両の燃費向上(※) 	軽油使用量(L/年)	-15.6	86.1	△	2021年度より走行距離が11,281km増加したことにより軽油の使用量も増加しましたが、2021年度と比べると燃料は約2,854L/3ヶ月削減でき、二酸化炭素は約7,475kg-CO2/3ヶ月削減できました。
	軽油使用量(L/万円)	-14.8	86.7	△	
地域貢献活動協力 	地域清掃活動・環境イベントへの参加	0.0	0.0	×	取組期間中に清掃活動等がありませんでした。

評価基準	達成率100%以上	◎
	達成率90%以上から100%未満*1)	○
	達成率70%以上から90%未満	△
	達成率70%未満	×

\*1)達成率90～100%は若干目標には到達しなかったがPDCAが回ったことを評価。

俵内工場

環境経営目標の達成度評価コメント(総量と売上高基準原単位評価)

環境経営目標 増減項目	総量(上段) 売上高原単位(下 段)	実績基準 削減率 (%) (a-c)/a×100	目標基準 達成率 (%) b/c×100	評価	達成度評価コメント
売上高 (万円単位)					
CO2総量削減 	CO2 (kg/年)	19.5	123.0	◎	出荷量が減少したことによりCO2量が減少し、目標を達成できました。
	CO2指数 (CO2kg/万円)	-14.1	86.8	△	
電力使用量削減	電力量 (CO2kg/年)	13.5	114.4	◎	出荷量が減少したことにより、生産量も減少したことで電気使用量も減少しました。
	電力量指数 (CO2kg/万円)	-22.6	80.8	△	
灯油使用量削減	灯油 (CO2kg/年)	26.8	135.2	◎	機器の解氷用のポイラーで使用することが主のため、暖冬の影響もあり、使用回数が減少したことにより、目標を達成できました。
	灯油 (CO2kg/万円)	-3.7	95.5	○	
LPG使用量削減	LPG (CO2kg/年)	7.2	106.7	◎	機器のメンテナンスで使用することが主のため、使用頻度が少なかったことにより目標を達成できました。
	LPG (CO2kg/万円)	-31.5	75.3	△	
ガソリン使用量削減	ガソリン (CO2kg/年)	20.8	125.0	◎	エコドライブを実施し、尚且つ使用頻度の見直しを行ったことで、目標を達成できました。
	ガソリン (CO2kg/万円)	-12.2	88.2	△	
軽油使用量削減	軽油 (CO2kg/年)	21.6	126.2	◎	出荷量が減少したことにより、重機の運行が減少したことで、目標を達成できました。
	軽油 (CO2kg/万円)	-11.1	89.1	△	
一般廃棄物排出量削減 	一般廃棄物 (t/年)		0.0	×	今期データを集計したので、来期より評価いたします。
	一般廃棄物 (t/万円)		0.0	×	
産業廃棄物排出量削減 	産業廃棄物 (t/年)	100.0	100.0	◎	取組期間中に産業廃棄物の排出がなかったため、目標を達成できました。
	産業廃棄物 (t/万円)	100.0	100.0	◎	
ガス使用量削減 	ガス使用量 (kg/年)	6.5	107.0	◎	機械のメンテナンスのため、使用していることが多いため必要に応じて使用量が変化しますが、目標を達成できました。
	ガス使用量 (kg/万円)	0.0	100.0	◎	
化学物質購入量 	化学物質購入量 (kg/年)	-116.8	45.7	×	重機のメンテナンスのためにエンジンオイルの購入量が多くなりました。
	化学物質購入量 (kg/万円)	-207.1	32.2	×	
グリーン購入品 目数増加 	品目数 (品/年)	0.0	0.0	×	集計を行っていませんでしたので、次年度から集計を行います。
生産量の向上 (※) 	生産量(t/年)	16.1	83.0	△	基準年度より出荷量が減少したことにより生産量も減少しましたが、売上げに対してはコーンクラッシャーの入替により生産量が向上しました。
	生産量(t/万円)	-18.8	120.0	◎	
地域貢献活動協力 	地域清掃活動・環境イベントへの参加		0.0	×	取組期間中に清掃活動がありませんでした。

評価基準	達成率100%以上	◎
	達成率90%以上から100%未満*1)	○
	達成率70%以上から90%未満	△
	達成率70%未満	×

\*1) 達成率90~100%は若干目標には到達しなかったがPDCAが回ったことを評価。

※生産量の向上については、目標基準達成率c/b×100で算出しました。

9. 環境関連法規の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反・訴訟の有無

No	適用される環境関連法規	遵守(○)
1	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	○
2	建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律	○
3	公害防止組織法	○
4	騒音規制法	○
5	浄化槽法	○
6	大気汚染防止法	○
7	フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律	○
8	特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律	○
9	労働安全衛生法	○
10	消防法(危険物取扱い部分)	○
11	特定家庭用機器再商品化法	○
12	使用済自動車の再資源化等に関する法律	○
13	国等による環境物品等の調達の推進に関する法律	○
14	特定特殊自動車排ガスの規制等に関する法律	○
15	採石法	○
16	森林法	○
17	火薬類取締法	○
18	じん肺法	○

(1) 遵守状況の確認及び評価の結果

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守され違反もありませんでした。

(2) 違反及び、訴訟の有無について

関係機関及び工場近隣からの違反の指摘、訴訟等もなく、是正処理に至る問題はありませんでした。

## 10. 代表者の全体評価及び見直し

弊社は、大梅工場、生コン工場、俵内(砕石)工場、ガソリンスタンドや書店など部門が多岐に渡っております。そのため、2022年10月から環境負荷が高い産業廃棄物の収集運搬及び、中間処理業を行っている大梅工場からエコアクション21の取得に向けて活動し、今年度は生コン工場と俵内工場に拡大して活動してきました。

新型コロナウイルス感染症は5類移行となったものの、それ以降の経済回復に伴うエネルギー需要が拡大する中、歴史的なエネルギー価格の高騰が生じ、業界全体に影響を及ぼすなど厳しい状況となりました。

従業員一人一人が環境に対する取り組みを行っておりますが、全体を通して売上げが減少したことにより目標を達成することが出来ませんでした。

産業廃棄物中間処理については、前年度の繰越分を処理できたことにより目標を大幅に達成できました。

車両の燃費向上については、車両のメンテナンスを定期的に行い、エコドライブを実践することで、基準年度よりも燃費が向上しました。

俵内工場においては、新型のコーンクラッシャーへの入替を行ったことにより、メンテナンスや故障の対応負荷も軽減し、同時に生産性の向上と共に生産量が大幅に伸びました。

さらに、社内CSR活動及び、関連会社や地域のイベントに積極的に参加し、環境配慮の理解を深め、環境の整備、地域活性化に努めています。

今年度は、CO2排出係数の低い電力使用を考慮するために電力購入会社の見直しを図り、また環境に優しい製品の購入を推進することで、CO2排出減少に努めてまいります。

今回、大梅工場は1年間の取組み、生コン工場及び、俵内工場は、暫定期間(3ヶ月)の取組みとなりました。新しく集計を始めた項目を使用し、その集計を基に今後は環境経営目標を設定し、活動内容を見直し継続していきます。さらに、他の部門にも活動を広げ、3年以内に段階的に対象範囲を拡大していきます。全従業員と共に環境資源を有効に活用し、環境に優しい企業を目指して取り組んでいきます。

## 11 今年度の評価を踏まえた次年度環境経営目標及び環境経営計画


















### (1) 次年度 環境経営目標

#### I. 大梅工場

##### (1).中長期目標

No	環境経営目標項目	基準年	削減率等	中長期目標(3年)		
		2021年度 (R3.10~R4.3)	年率(%) 年件数(件)	2024年度 (R6.4~R7.3)	2025年度 (R7.4~R8.3)	2026年度 (R8.4~R9.3)
1	二酸化炭素排出量削減(kg/年)	1,057,387	1%	2,051,963	2,031,443	2,011,129
2	自社廃棄物排出量削減(kg/年)	7,320	1%	14,845	14,697	14,550
3	水使用量削減(m <sup>3</sup> /年)	345	1%	670	663	656
4	化学物質購入量削減(kg/年)	71,903	1%	139,535	138,139	136,758
5	グリーン購入品増加(品/年)	0	2アイテム増	6	8	10
6	運搬車両における環境配慮 軽油使用量削減(L/年)	23,685	1%	45,963	45,503	45,048
	事業活動における環境配慮項目 再資源化率の向上(%)	87.6	99%以上	99%以上	99%以上	99%以上

##### (2).単年度目標

No	環境目標項目	基準年(2021年度実績) (R3.10~R4.3)	削減率 (%、件数)	2024年度環境経営目標 (R6.4~R7.3)	
1	二酸化炭素排出量	1,057,387	1%	2,051,963	
	 (1) 電力排出量	212,048	1%	411,500	
	 (2) 灯油排出量	2,891	1%	5,610	
	 (3) LPG排出量	369	1%	717	
	(4) ガソリン排出量	4,303	1%	8,351	
	(5) 軽油排出量	274,095	1%	531,908	
	(6) A重油排出量	563,680	1%	1,093,876	
2	自社廃棄物排出量	 一般廃棄物	-	1%	640
		産業廃棄物	7,320	1%	14,205
3	水使用量	  	345	1%	670
4	化学物質購入量	  	71,903	1%	139,535
5	グリーン購入の推進	  	0	2アイテム増	6
6	受託した産廃の収集運搬及び製品運搬における環境配慮 燃費管理	 	23,685	1%	45,963
	事業活動における環境配慮項目 再資源化率の向上	 	87.6	99%以上	99%以上

※二酸化炭素排出係数:0.356 t-CO<sub>2</sub>/kWh((株)V-Power R4.1.7 公表値(基礎排出係数)

※一般廃棄物排出量は、2022年度の326.6kg/半年から年1%削減で設定しました。

##### (3) 本年度自主設定環境経営目標















環境経営目標項目	取組期間(R5.4~R6.3)目標	中長期目標(3年)
5S活動の実施	定期的に5S推進委員会を開催し、赤札による整理整頓を行う	年1回の赤札作戦の実施
地域貢献活動協力	史跡周辺、河川等の地域清掃活動・イベント活動への参加	年3回の実施

## II. 生コン工場

### (1).中長期目標

No	環境経営 目標項目	基準年	削減率等	中長期目標(3年)			
		2021年度 (R4.1~R4.3)	年率(%) 年件数(件)	2024年度 (R6.4~R7.3)	2024年度 (R7.4~R8.3)	2025年度 (R8.4~R9.3)	
1	二酸化炭素排出量削減(kg/年)	107,300	1%	420,658	416,451	412,287	
2	廃棄物排出量削減(kg/年)	—	1%	集計する	集計する	集計する	
3	水使用量削減(m <sup>3</sup> /年)	—	1%	集計する	集計する	集計する	
4	化学物質購入量削減(kg/年)	25,350	1%	99,382	98,388	97,404	
5	グリーン購入品増加(品/年)	—	2アイテム増	4	6	8	
6	事業活動における 環境配慮項目	軽油使用量 削減(L/年)	18,971	0.5%	75,125	74,750	74,376

### (2).単年度目標

No	環境目標項目	基準年(2021年 度実績) (R4.1~R4.3)	削減率 (%、件数)	2024年度 環境経営目標 (R6.4~R7.3)	
1	二酸化炭素排出量	107,300	1%	420,658	
	  (1) 電力排出量	18,546	1%	72,707	
	(2) 灯油排出量	1,384	1%	5,428	
	(3) LPG排出量	18.6	1%	73	
	(4) がソリソ排出量	2,030	1%	7,958	
	(5) 軽油排出量	73,532	1%	288,277	
	(6) LSA重油排出量	11,789	1%	46,216	
2	廃棄物排出量	 一般廃棄物	—	1%	349
		産業廃棄物	—	1%	集計する
3	水使用量	  	—	1%	地下水 メータ取付け
4	化学物質購入量	  	25,350	1%	99,382
5	グリーン購入の推進	  	—	2アイテム増	4
6	製品運搬における環境 配慮	燃費管理  	18,971	0.5%	75,125

※二酸化炭素排出係数:0.356 t-CO2/kWh((株)V-Power R4.1.7 公表値(基礎排出係数))

※一般廃棄物排出量は、2023年度の89.1kg/3ヶ月から年1%削減で設定しました。

### (3) 本年度自主設定環境経営目標













環境経営目標項目	取組期間(R6.1~R6.3)目標	中長期目標(3年)
地域貢献活動協力	史跡周辺、河川等の地域清掃活動・イベント活動への参加	年3回の実施
5S活動の実施	定期的に5S推進委員会を開催し、赤札による整理整頓を行う	年1回の赤札作戦の実施

### III. 俵内工場

#### (1). 中長期目標

No	環境経営 目標項目	基準年	削減率等	中長期目標(3年)		
		2021年度 (R4.1~R4.3)	年率(%) 年件数(件)	2024年度 (R6.4~R7.3)	2025年度 (R7.4~R8.3)	2026年度 (R8.4~R9.3)
1	二酸化炭素排出量削減(kg/年)	292,006	1%	1,144,781	1,133,333	1,121,999
2	廃棄物排出量削減(kg/年)	875	1%	3,430	3,396	3,362
3	ガス使用量削減(kg/年)	20	現状維持	81	81	81
4	化学物質購入量削減(kg/年)	993	1%	3,895	3,856	3,817
5	グリーン購入品増加(品/年)	-	2アイテム増	4	6	8
6	事業活動における 環境配慮項目	生産量の向 上(t/年)	1%増	294,707	297,654	300,630

#### (2). 単年度目標

No	環境目標項目	基準年(2021年 度実績) (R4.1~R4.3)	削減率 (%、件数)	2024年度 環境経営目標 (R6.4~R7.3)	
1	二酸化炭素排出量	292,006	1%	1,144,781	
	  (1) 電力排出量	75,510	1%	296,028	
	(2) 灯油排出量	1,143	1%	4,481	
	(3) LPG排出量	60.43	1%	237	
	(4) ガソリン排出量	1,153	1%	4,520	
	(5) 軽油排出量	214,140	1%	839,514	
2	廃棄物排出量	 一般廃棄物	-	1%	527
		産業廃棄物	875	1%	3,430
3	ガス使用量	 20	現状維持	81	
4	化学物質購入量	   993	1%	3,895	
5	グリーン購入の推進	   -	2アイテム増	4	
6	事業活動における環境 配慮項目	生産量の向 上(t/年)   72,225	1%増	294,707	

※二酸化炭素排出係数:0.356 t-CO2/kWh((株)V-Power R4.1.7 公表値(基礎排出係数))

※一般廃棄物排出量は、2023年度の133.19kg/3ヶ月から年1%削減で設定しました。

#### (3) 本年度自主設定環境経営目標

環境経営目標項目	取組期間(R6.1~R6.3)目標	中長期目標(3年)
地域貢献活動協力	史跡周辺、河川等の地域清掃活動・イベント活動への参加	年3回の実施
5S活動の実施	定期的に5S推進委員会を開催し、赤札による整理整頓を行う	年1回の赤札作戦の実施

(2) 次年度 環境経営計画

1. 大梅工場

環境経営目標	環境経営計画	担当者	取組の具体的内容	実施時期/頻度		
 二酸化炭素排出量の削減	電力使用の削減	緑川	不要照明の消灯	通年		
		部門長	照明器具の改善(蛍光灯をLED灯に更新)	2025～		
		緑川	OA機器・家電製品の待機電力の削減	通年		
		緑川	普段使用しない機器の電源を抜いておく	通年		
		緑川	冷暖房の温度管理(冬20℃、夏28℃)	通年		
		緑川	冷暖房機器フィルター清掃	年2回		
		緑川	冷暖房の上下温度差解消(サーキュレーターの利用)	通年		
		部門長	各種設備の効率的な運転(作業手順の見直し)	年2回		
	ガス使用の削減	緑川	給湯器のごまめな温度調節を行う	毎日		
		部門長	電気給湯器への切り替え	2026.10		
	エコドライブの実施	大森	エコドライブ教育研修に参加	8月		
		大森	日常点検の実施	毎日		
		大森	アイドリング時間の削減	通年		
		大森	急発進、急加速はしない	通年		
		大森	タイヤの空気圧を定期的に調整する	毎月		
		緑川	燃費管理の実践(走行距離数/燃料消費量)	毎日		
	A重油使用の削減	部門長	水切り骨材の優先使用	雨天時		
		部門長	ストックヤードのシート掛けの励行	雨天時		
		部門長	連続運転の励行(着火回数の低減)	通年		
	 廃棄物排出量の削減(自社)	産業廃棄物	廃棄物分別の徹底	鈴木	分別の徹底と保管	通年
				鈴木	廃棄物置場の整理	通年
一般廃棄物		ゴミの削減	緑川	コピー数量の削減	通年	
			緑川	文書の電子化の推進	通年	
			緑川	OA紙の資源化(回収サービスの利用等)	通年	
			緑川	分別の徹底	通年	
緑川	マイバック・マイボトル・マイ箸への移行	通年				
 水の総削減	水道使用量の削減	中村部長	洗車時の自動水栓弁の取り付け	2026.3		
	中水の利用	部門長	循環水システムの工夫	通年		
	地下水・雨水の利用	部門長	利用目的(消雪・散水)に応じた効率的な使用	通年		
 化学物質の使用削減	化学物質の削減	和知	化学物質の代替品への移行	通年		
	化学物質のSDS管理	和知	化学物質使用量の台帳管理による使用	通年		
	化学物質有害性把握	和知	揮発性有機溶剤の削減	通年		
 グリーン購入の推進	環境負荷低減	緑川	グリーン購入品目の集計	通年		
		緑川	エコマーク品の購入推進	通年		
 本業の環境配慮	再資源化率向上	緑川	年間の再資源化率の集計	2022.11～		
	資源の有効利用	鈴木	中間処理における待機動力の削減	通年		
	燃費向上	鈴木	燃費管理の実施	毎日		
	緑化活動	生田目	敷地内植樹(グリーンカーテン等)の実施	年1回		
 地域社会への貢献活動	地域・社会貢献活動	部門長	地域清掃活動への参加	年3回		
		部門長	各種環境イベントへの積極的参加	通年		
 活動5S	5S(整理・整頓・清掃・清潔・躰)活動	部門長	整理・整頓・清掃を行う	毎日		
		部門長	赤札作戦(要・不要の仕分け)の実施	年1回		

## 11. 生コン工場

環境経営目標	環境経営計画		担当者	取組の具体的内容	実施時期/頻度
二酸化炭素排出量の削減 	電力使用の削減		鈴木	不要照明の消灯	通年
			部門長	照明器具の改善(間引き及びブルダウンスイッチ他更新)	2025.3
			鈴木	OA機器・家電製品の待機電力の削減	通年
			鈴木	冷暖房の温度管理(冬20℃、夏28℃)	通年
			鈴木	冷暖房機器フィルター清掃	年2回
			鈴木	冷暖房の上下温度差解消(サーキュレーターの設置)	2025.3
			部門長	各種設備の効率的な運転(作業手順の見直し)	年2回
	ガス使用の削減		鈴木	給湯器のこまめな温度調節を行う	毎日
			部門長	ガス使用の見直し	2023.4
	エコドライブの実施		部門長	エコドライブ教育研修に参加	8月
			小濃	日常点検の実施	毎日
			小濃	アイドリング時間の削減	通年
			小濃	急発進、急加速はしない	通年
			小濃	タイヤの空気圧を定期的に調整する	毎月
			小濃	燃費管理の実践(走行距離数/燃料消費量)	毎日
	LSA重油使用の削減		部門長	ボイラー稼働時間の短縮	冬期
廃棄物排出量の削減(自社) 	産業廃棄物	廃棄物分別の徹底	牧野	分別の徹底と保管	通年
			牧野	分別方法を判りやすく掲示	2024.9
			牧野	廃棄物置場の整理	通年
	一般廃棄物	ゴミの削減	鈴木	コピー数量の削減	通年
			鈴木	OA紙の資源化	通年
			鈴木	分別の徹底	通年
			鈴木	マイバック・マイボトル・マイ箸への移行	通年
	化学物質の削減 	化学物質の削減		垂石	化学物質の代替品への移行
化学物質のSDS管理		垂石	化学物質使用量の台帳管理による使用	通年	
グリーン購入の推進 	環境負荷低減		鈴木	グリーン購入品目の集計	通年
			鈴木	エコマーク品の購入推進	通年
燃費向上 	燃費向上		小濃	ミキサー車の燃費管理の実施	毎日
	地域・社会貢献活動 	地域・社会貢献活動		部門長	地域清掃活動への参加
部門長				各種環境イベントへの積極的参加	通年
5S活動 	5S(整理・整頓・清掃・清潔・躰)活動		部門長	整理・整頓・清掃を行う	毎日
			部門長	赤札作戦(要・不要の仕分け)の実施	年1回

III. 俵内工場

環境経営目標	環境経営計画		担当者	取組の具体的内容	実施時期/頻度
二酸化炭素排出量の削減   	電力使用の削減		宗田	不要照明の消灯	通年
			部門長	照明器具の改善(間引き及びブルダウンスイッチ他更新)	2025.3
			鈴木(美)	0A機器・家電製品の待機電力の削減	通年
			鈴木(美)	冷暖房の温度管理(冬20℃、夏28℃)	通年
			宗田	冷暖房機器フィルター清掃	年2回
			宗田	冷暖房の上下温度差解消(サーキュレーターの設定)	2025.3
			部門長	各種設備の効率的な運転(作業手順の見直し)	年2回
	ガス使用の削減		鈴木(美)	給湯器のこまめな温度調節を行う	毎日
			部門長	ガス使用の見直し	年2回
	エコドライブの実施		部門長	エコドライブ教育研修に参加	8月
			中郡	日常点検の実施	毎日
			和知	アイドリング時間の削減	通年
			和知	急発進、急加速はしない	通年
			和知	タイヤの空気圧を定期的に調整する	毎月
			工藤	燃費管理の実践(走行距離数/燃料消費量)	毎日
廃棄物の削減(自社) 	産業廃棄物	廃棄物分別の徹底	宗田	分別の徹底と保管	通年
			宗田	分別方法を判りやすく掲示	2024.9
			宗田	廃棄物置場の整理	通年
	一般廃棄物	ゴミの削減	宗田	コピー数量の削減	通年
			宗田	0A紙の資源化	通年
			宗田	分別の徹底	通年
			中郡	マイバック・マイボトル・マイ箸への移行	通年
 	化学物質の削減		工藤	化学物質の代替品への移行	通年
	化学物質のSDS管理		工藤	化学物質使用量の台帳管理による使用	通年
 	環境負荷低減		鈴木(美)	グリーン購入品目の集計	通年
			鈴木(美)	エコマーク品の購入推進	通年
 	生産量向上	作業工程の見直し	部門長	作業の見直しを図り、改善策を講じる	年3回
		地域・社会貢献活動		部門長	地域清掃活動への参加
		部門長	各種環境イベントへの積極的参加	通年	
活5 動S	5S(整理・整頓・清掃・清潔・躰)活動		部門長	整理・整頓・清掃を行う	毎日
			部門長	赤札作戦(要・不要の仕分け)の実施	年1回